

西松建設株式会社

所在地 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

従業員数 2,794人

事業内容 総合建設業

(令和4年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

年1回の法定健診を必ず受診しているにもかかわらず、疾病を発見することができず、治療が遅れ重症化してしまう社員が毎年数名いました。疾病の重症化は長期入院や後遺症が残ることが多く、労働力の損失・技術力の低下を招き、労働生産性の低下に繋がることから、疾病の予防や早期発見・早期治療が重要であると認識しました。そして健康は個人の責任で管理するという発想を転換し、会社が社員の健康を支援し、社員と一緒に取り組んでいくことが必要だと考えました。

また、会社がどんなに良い制度を導入し、疾病を早期に発見できたとしても、社員が健診結果を正しく理解できなかつたり、治療が必要な社員の理解不足により治療が遅れると、疾病の重症化が懸念されることから、併せて健康意識を向上させる施策が必要だと考えました。

特に力を入れた取り組みとその効果

疾病の早期発見・早期治療を目的として、年2回の健康診断を実施しています。この内1回を、30歳以上の社員は人間ドック受診とし義務化しています。この人間ドック受診に対し、補助金の支給と有給休暇とは別に休暇を付与しています。この人間ドック制度は対象者のほぼ全員が受診しており、社員から広く受け入れられている制度となっています。

これに加え2021年度に特に力を入れたことは、健診結果が一定基準以下の社員を対象とした『精密検査の受診勧奨』を強化したことです。社員の約半数が「要治療・再検査・精密検査」と診断されているにも関わらず、精密検査を受診しない社員が一定数いることから、健康推進センターの産業看護職が中心となって、対象者に対する受診勧奨を強化しました。その結果2020年度には19.7%だった受診率は、2021年度は62.3%と約3倍の社員を精密検査に導くことができました。

今後も、自らが健康状態を認識し、勧奨されなくても進んで健診受診後の精密検査を受診するよう、社員の健康意識を高める施策を講じていきたいと考えています。



本社社員食堂に「ヘルシーメニュー」がスタート



組合だより掲載「みんなであそび」インタビュー

ホームページ

<https://www.nishimatsu.co.jp/csr/n-vision/kenko2019.html>